

国土交通省道路局長

池田 豊人 様

(仮称) ^{おだか}小高スマートインターチェンジの
早期事業化に関する
要 望 書



福島県南相馬市

(仮称) 小^お高^{たか}スマートインターチェンジの 早期事業化に関する要望書

はじめに、平成30年8月10日に、「準備段階調査」に採択していただきましたことにつきまして、国土交通省の皆様方の並々ならぬお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

さて、福島県南相馬市小高区については、避難指示区域の解除から間もなく4年目を迎えようとしておりますが、平成31年3月31日現在の居住人口は約3千5百人であり、震災前居住人口（約1万3千人）の27パーセント程度にとどまっております。人口の減少とともに観光客等の交流人口の減少、企業活動等の社会経済活動も未だ低迷している現状となっております。

このような中、本市においても、住民の帰還や交流人口の拡大を促進するため、小高復興拠点施設や商業施設の整備を行い、さらには、定住人口の増加を図るため、様々な企業誘致活動を行っているところではございますが、復興に向けた動きをさらに加速させるためには、(仮称)小高スマートイン

ターチェンジは必要不可欠であります。

(仮称)小高スマートインターチェンジの設置による高速道路アクセスの利便性向上により、住民帰還の促進、並びに企業の事業再開の加速化や企業誘致の推進、観光振興による交流人口の拡大など、様々な効果が見込まれ、製造業者及び観光関係者、地元住民からも大きな期待が寄せられていることから、早期整備に向け、当該スマートインターチェンジを新規事業採択されるよう、強く要望いたします。

令和元年5月21日

南相馬市長 門馬和夫